

2013年1月8日

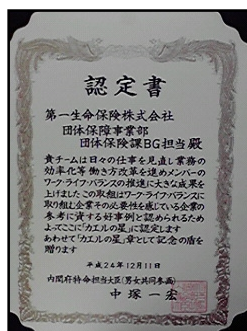
## 第一生命保険株式会社 団体保障事業部が 第一回『カエルの星』(内閣府男女共同参画局主催)に認定

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎)の団体保障事業部団体保険課BG担当の取組みが、内閣府特命担当大臣より「カエルの星」として認定され、認定書と記念品(盾)を受領しました。

『カエルの星』は、企業や団体において、所属している組織(部・課・班・チームなど)単位で『働き方を変え成果をあげた取組み』を内閣府が選定・認定し、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業やその必要性を感じている企業に紹介することで、ワーク・ライフ・バランスの更なる推進に役立てるものです。

当社では、2010年度より企業価値を高めていく独自の経営の枠組みとして「DSR経営」を展開しており、「業務改善による経営品質の向上」に向けて、ワークスタイルの変革、および働き方の変革に取り組んでいます。全社横断的な業務量削減および業務の標準化への取組み等を推進しながら、圧縮した業務時間を付加価値の高い業務に振り向けることにより、業務の品質および成果の維持・向上とワーク・ライフ・バランスの向上の両立を目指しています。

こうした取組みの成果が今回の認定に結びついたものと考えています。



今回の認定を受けるにあたっては以下の点が評価されました。

- マニュアル化による業務の効率化に取り組み、マニュアルは高スキル者が作成するのではなく、低スキル者が高スキル者から業務を教わりながら作成することで「誰がみても理解できるマニュアル」となるよう作成方法を工夫している。
- 担当者のマルチスキル化を進めることで、複数の業務工程を1人に集約する体制(セル化)に変更し、工程数の削減により効率化を図っている。

－効率化とスキル向上の効果により、人員の効率化と有給休暇取得日数の増加というワーク・ライフ・バランスを実現している。

当社グループでは、グループビジョン「いちばん、人を考える会社になる。」を制定しています。このビジョンには、お客さま、社会、株主・投資家の皆さま、従業員など当社が関わる様々な「人（ステークホルダー）」のことを真剣に考える、という思いを込めています。当社は、今後ともお客さまに満足していただけるサービスを提供するため、品質および生産性の向上に積極的に取り組んでまいります。